街のわだい

お正月の歳時をユニークに"凧(たこ)に書初め"

凧に書初めをする企画として、一月六日、霞ヶ浦公民館主催の「新春書初め大会」をあじさい館で開催しました。

講師には、根食蓉波(ようは)先生（宍倉）を迎え、市内の小学生十二人がそれぞれの課題を書き上げました。毛筆は三年生から学校の授業に取り入れられていて、この日は、特別に冬休みの宿題も先生に指導を受けていました。中には、初めて筆を持ったというにもかかわらず、ダイナミックな『いのしし』の文字を書き上げる小学校一年生の児童もいました。

みなさん正月にちなんだ課題を書き上げた

今年もしっかり防災の心を"消防出初式"

市消防出初式が、一月七日、多目的運動広場で開催されました。

参加したのは、市内の消防団、消防本部、婦人防火クラブの方々。寒空の中、式を見に来た家族連れに、一糸乱れぬ行動を披露しました。

式では、坪井市長の人員、服装などの点検の後、集まった六十一台の消防関係車両が式本部前を分列行進して、広場を一周しました。また、田﨑消防団長が、功績者や永年勤続者など、二十六人に表彰状を伝達しました。

消防本部や団員の点検をする坪井市長

自分だけの"味噌"の味づくり

一月十三日、千代田公民館主催の手づくり味噌講座を開催しました。

この日は十八人が参加し、味噌を自らの手で作りました。味噌は、①塩切り麹②煮大豆のかくはん③タル詰め④熟成の手順で作られます。

女性参加者は「今まで自分でやってはいたが、うまくいかないので教わりに来ました。」と積極的。また、今回の参加者の中には、男性三人の姿も。「味噌づくりははじめてですがこの機会に覚えたい」と積極的に取り組んでいました。

力強く大豆を練りこむ男性の参加者

"健康でいきいき"な生活を送ろう！

一月十五日、岩坪集落センターで、六十歳以上の方を対象にした「いきいき健康教室」が開催されました。

この事業は、「可能な限り要介護状態にならず健康で生き生きと暮らすこと」を目的に、市の在宅介護支援センター〈サンシャインつくば〉が実施。

この日は、近所から三十二人が、参加。身体測定で体の健康状態を確認した後、シルバーリハビリ体操指導士による、簡単にできる転倒予防体操で、体を動かしました。また、消費生活センター講師による消費者問題の講演会も実施され、悪質な手口から身を守る方法を学びました。

体脂肪計を使っての健康管理

15人の大学生が市内で"保育実習"

一月十八～二十九日の間、市内七カ所の保育所は、つくば国際短期大学の保育科から十五人の生徒を保育実習生として受け入れました。

第一保育所では坂部喬(たかし)さんと鈴木亜里沙さんが実習を受けており、子どもたちと元気いっぱいに活動している姿が見られました。

まだまだ男性の保育士が少ない中、坂部さんは「子どもが大好きなので是非保育士になりたい！」と将来の夢に胸を高めていました。

お散歩の間中も子どもたちは元気いっぱい

猪苗代で"青少年スキー教室"を開催

一月二十七日、二十八日に、NPO霞ヶ浦クラブ（木村元宣理事長）主催、市教育委員会、出島スキークラブ後援の「2007青少年チャレンジスキーin猪苗代」が、福島県猪苗代リゾートスキー場で開催されました。

この日は、市内外の小学生が約五十人参加し、スキーの上達を目指すと共に、お互いの親睦を深めました。

同クラブは、老若男女を対象にスポーツや文化に関わるイベントを企画し、青少年の健全育成に努めています。

総勢12人のスキー講師とアシスタントが見守る中、元気に滑り始める子どもたち